

---

---

## 第46回ギャラクシー賞 ラジオ部門大賞受賞 裁判員制度をテーマとしたラジオドラマを全国38局にて放送！

### FM福岡制作「聞こえない声～有罪と無罪～」

---

---

TOKYO FMをはじめとするJFN38局ネットでは、第46回ギャラクシー賞ラジオ部門大賞を受賞したFM福岡のラジオドラマを、フルネットにて放送することを決定いたしました。

この番組は、FM福岡で2008年に放送されたラジオドラマです。翌2009年5月21日から施行される裁判員制度を一般市民に分かりやすく理解できることを目的に制作、放送されました。難解に走りがちなテーマを、エンターテインメントな演出でラジオドラマとして十分楽しめるものに仕立てることに成功し、放送後に2008年日本民間放送連盟賞ラジオ教養部門優秀賞と、文化庁芸術祭賞ラジオ部門優秀賞、JFN企画部門特別賞を受賞することが出来ました。さらに、2009年6月にはギャラクシー賞ラジオ部門で大賞を受賞。誰もが体験するかもしれない裁判員制度を身近に捉えることで、放送を通じて限りなく事実へ近づき努力、そこから自らが考えるという人間としての道理を表現しました。JFN38局は、JFNが唱える「Human Conscious～生命を愛し、つながる心」の理念に基づき、この番組を全国放送することで一人でも多くのリスナーが「一瞬でも立ち止まってみる」、そして「考えてみる」、そのきっかけに繋がることを願っています。

#### 【番組内容】～ミステリーを楽しみながら、裁判員制度が学べるラジオドラマ～

主人公・大石は、ギャンブルも勝ったことがないし、宝くじにも当たってことがないという男。それが裁判員制度の抽選に当たってしまった。物語は、そんな大石の独白によって進行していく。裁判員として不本意ながら参加した大石も次第にその事件に迫っていく。事件とは、福岡県前原氏雷山の山中で男が女性を絞殺したもの。その一部始終の音を、偶然、野鳥愛好家が仕掛けた録音機が捉えていた。これが動かしがたい証拠として取り上げられ、被告人は有罪が確定的と考えられていた。ところが、その録音機に不思議な音が混在しており、現場に第三の人物がいたかもしれないとなり、物語は急展開していく。その不思議な音とは……。そして被告人は有罪か無罪か？「聞こえない音」がキーワードになるラジオドラマです。

1.番組名 特別番組 ラジオドラマ「聞こえない声～有罪と無罪～」(JFN38局フルネット)

2.放送日時 9月30日(水)26時～27時

TOKYO FM、FM大阪、FM福岡、AIR'G、FM仙台、K-MIX、広島FM、FM青森、FM岩手、FM秋田、福島FM、FM栃木、FM新潟、FM長野、FM愛知、FMとやま、FM石川、FM福井、岐阜FM、FM三重、FM滋賀、KISS-FM、FM山陰、FM岡山、FM山口、FM香川、FM愛媛、FM徳島、FM佐賀、FM長崎、FM熊本、FM大分、FM宮崎、FM鹿児島、FM沖縄

10月11日(日)18時～19時

FM山形

9月27日(日)19時～20時

FM群馬

10月4日(日)19時～20時

FM高知